

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	上級実用フランス語B／仏検2・1級取得対策講座B						
担当教員	木谷 吉克						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	3～4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	仏検準2級、2級に合格できる総合的な語学力の養成。
授業計画 Syllabus	第1回：授業のガイダンス。書き取り、聞き取り問題の練習。 第2回～第15回：仏検準2級もしくは2級の過去問題、対策問題を解いていく。筆記問題に50分、書き取り、聞き取り問題に40分をあてる。 仏検準2級、2級の実力がついたと判断される場合は、仏検準1級の過去問題、対策問題に取り組むこともありうる。 単語、熟語表現の小テストを隔週に行なう。また、適宜必要と思われる文法説明をプリントにて行なう。
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	演習
評価方法 Evaluation	定期試験に出席率、小テスト等を加味する。仏検合格者には5点程度加点する。
履修上の注意 Requirements and policy	仏検3級にすでに合格していない者は履修できない。問題はあらかじめ解いておくこと。欠席5回で失格とする。
教科書 Textbook(s)	プリントにて配付する。
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	中級実用フランス語B／仏検3・2級取得対策講座B						
担当教員	木谷 吉克						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	2～4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	<p>仏検3級、準2級取得のための実力養成          仏検3級、準2級に合格できる力を養成するため、過去問題、対策問題を解いていく。十分な語彙力をつけてゆくとともに、文法的理解を深め、長文にも動じない読解力を養成することを目指す。</p>
授業計画 Syllabus	<p>第1回：教材配付。授業の進め方、成績のつけ方等の説明のあと、仏検3級過去問題を解く。          第2回：3級用練習問題（1）の語彙問題、動詞活用問題、ヒアリング問題を解く。          第3回：練習問題（1）の前置詞に関する問題、語順並べ替え問題、ヒアリング問題を解く。          第4回：仏検3級対策用語彙集より第1回小テスト。練習問題（1）の応答分選択問題、ヒアリング問題を解く。          第5回：練習問題（1）の短文選択問題、読解問題、ヒアリング問題を解く。          第6回：仏検3級対策用語彙集より第2回小テスト。練習問題（1）の会話文穴埋め問題、ヒアリング問題を解く。          第7回：3級用練習問題（2）の語彙問題、動詞活用問題、ヒアリング問題を解く。          第8回：仏検3級対策用語彙集より第3回小テスト。練習問題（2）の前置詞に関する問題、語順並べ替え問題、ヒアリング問題を解く。          第9回：練習問題（2）の応答分選択問題、ヒアリング問題を解く。          第10回：仏検3級対策用語彙集より第4回小テスト。練習問題（2）の短文選択問題、読解問題、ヒアリング問題を解く。          第11回：練習問題（2）の会話文穴埋め問題、ヒアリング問題を解く。          第12回：仏検3級対策用語彙集より第5回小テスト。3級用練習問題（3）の語彙問題、動詞活用問題、ヒアリング問題を解く。          第13回：練習問題（3）の前置詞に関する問題、語順並べ替え問題、ヒアリング問題を解く。          第14回：総復習問題を解く。          第15回：後期試験。</p>
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	演習
評価方法 Evaluation	定期試験に出席率および小テストの成績を加味する。秋の仏検で3級もしくは準2級に合格した者には5点程度加点する。
履修上の注意 Requirements and policy	すでに仏検4級に合格した者でなければこの科目を受けることはできない。必ず予習をした上で授業にのぞむこと。欠席5回で失格とする。
教科書 Textbook(s)	プリントを配布する。
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IA						
担当教員	瓜生 濃世						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜5	配当学年	1~4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	フランス語の初級文法を学び、フランス語の読み・書き・話す・聞くための基礎能力を養うことが目標です。
授業計画 Syllabus	第1回：オリエンテーション 第2回：綴り字と発音 第3回：名詞の性と数 第4回：不定冠詞・定冠詞 第5回：主語人称代名詞 第6回：動詞etre 第7回：部分冠詞 第8回：動詞avoir 第9回：第1群規則動詞 第10回：否定文 第11回：疑問文 第12回：形容詞 第13回：命令形 第14回：まとめ 第15回：まとめと試験
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	講義形式。各課で扱われている文法事項を単語や例文の発音練習を行いながら学び、練習問題に取り組む。
評価方法 Evaluation	平常点（出席状況、課題提出）50%、試験50%
履修上の注意 Requirements and policy	必ず教科書を持参すること。忘れた場合は、減点対象となります。
教科書 Textbook(s)	『ケンとジュリー』 太原孝英、駿河台出版社   ISBN978-4-411-00826-8
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IB						
担当教員	打田 素之						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1~4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	フランス語のしくみを学ぶ
授業計画 Syllabus	第1回 第6課 (1) 形容詞の比較・最上級 第2回 第6課 (2) 副詞の比較・最上級 第3回 第6課 (3) 特殊な比較・最上級 第4回 第7課 (1) aller と venir 第5回 第7課 (2) à と de 第6回 第7課 (3) 国名と前置詞の縮約 第7回 第8課 (1) 近接未来 第8回 第8課 (2) 近接過去 第9回 第8課 (3) 命令文 第10回 第9課 (1) 複合過去 1 第11回 第9課 (2) 複合過去 2 第12回 第9課 (3) 複合過去の否定形と疑問文 第13回 第10課 (1) 複合過去 3 第14回 第10課 (2) 後期の復習、筆記試験 第15回 第10課 (3) 複合過去 4
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	講義と演習
評価方法 Evaluation	平常点（20点）+筆記試験（80点）。なお、点数配分は平均点の数値によって変わることがある。
履修上の注意 Requirements and policy	出席重視。辞書必携。
教科書 Textbook(s)	「ヴワラ!」、伊勢晃他、早美出版社、ISBN 4-86041-025-X C3085
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IB						
担当教員	木谷 吉克						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1~4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	フランス語文法入門 フランス語を聞き、話し、書く上で最も必要とされる基本的な文法事項を学ぶ。フランス語の「しくみ」を習得することが目標。文法事項の説明のあと、それを明確に理解するために練習問題を解いてゆく。各文法事項の説明と練習問題に十分な時間をかけて進んでゆく。教科書の未修部分は、2年次で学習する。 文法説明以外に、フランス語らしく発音できるよう指導もする。そのため的小テストも毎回行う予定である。
授業計画 Syllabus	1回目：前期試験を返し、正答の説明をする。授業の進め方、成績のつけ方等を説明したあと、教科書の5課から始める。形容詞の位置、女性形の説明、練習問題。 2回目：5課の形容詞の複数形、複数形容詞の前の不定冠詞についての説明、練習問題。 3回目：6課の不規則動詞の直説法現在、冠詞の縮約の説明、練習問題。 4回目：6課の男性単数第2形を持つ形容詞についての説明、練習問題。 5回目：6課の疑問形容詞、7課の不規則動詞の直説法現在の説明、練習問題。 6回目：動詞の直説法現在形の小テスト。7課の命令形の説明、練習問題。 7回目：7課の所有形容詞、8課の不規則動詞直説法現在の説明、練習問題。 8回目：8課の形容詞・副詞の比較級の説明、練習問題。 9回目：8課の形容詞・副詞の最上級の説明、練習問題。 10回目：8課の特殊な優等比較級・最上級についての説明、練習問題。 11回目：9課の不規則動詞の直説法現在形、過去分詞についての説明、練習問題。 12回目：動詞の直説法現在の小テスト。9課の直説法複合過去の説明。 13回目：9課の直説法複合過去の説明のつづきと練習問題。 14回目：5課から9課までの総復習問題。 15回目：後期試験。
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	演習
評価方法 Evaluation	試験の成績に、小テストの成績と出席状況を加味する。仏検合格者には5点程度加点する。
履修上の注意 Requirements and policy	必ず予習した上で授業にのぞむこと。欠席5回で失格とする。
教科書 Textbook(s)	新版 ル・フランセ 斎藤昌三著（白水社）
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語ⅠB						
担当教員	木谷 吉克						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1～4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	フランス語文法入門 フランス語を聞き、話し、書く上で最も必要とされる基本的な文法事項を学ぶ。フランス語の「しくみ」を習得することが目標。文法事項の説明のあと、それを明確に理解するために練習問題を解いてゆく。各文法事項の説明と練習問題に十分な時間をかけて進んでゆく。教科書の未修部分は、2年次で学習する。 文法説明以外に、フランス語らしく発音できるよう指導もする。そのため的小テストも毎回行う予定である。
授業計画 Syllabus	1回目：前期試験を返し、正答の説明をする。授業の進め方、成績のつけ方等を説明したあと、教科書の5課から始める。形容詞の位置、女性形の説明、練習問題。 2回目：5課の形容詞の複数形、複数形容詞の前の不定冠詞についての説明、練習問題。 3回目：6課の不規則動詞の直説法現在、冠詞の縮約の説明、練習問題。 4回目：6課の男性単数第2形を持つ形容詞についての説明、練習問題。 5回目：6課の疑問形容詞、7課の不規則動詞の直説法現在の説明、練習問題。 6回目：動詞の直説法現在形の小テスト。7課の命令形の説明、練習問題。 7回目：7課の所有形容詞、8課の不規則動詞直説法現在の説明、練習問題。 8回目：8課の形容詞・副詞の比較級の説明、練習問題。 9回目：8課の形容詞・副詞の最上級の説明、練習問題。 10回目：8課の特殊な優等比較級・最上級についての説明、練習問題。 11回目：9課の不規則動詞の直説法現在形、過去分詞についての説明、練習問題。 12回目：動詞の直説法現在の小テスト。9課の直説法複合過去の説明。 13回目：9課の直説法複合過去の説明のつづきと練習問題。 14回目：5課から9課までの総復習問題。 15回目：後期試験。
参照URL Referance URL (s)	
授業方法 Class type	演習
評価方法 Evaluation	試験の成績に、小テストの成績と出席状況を加味する。仏検合格者には5点程度加点する。
履修上の注意 Requirements and policy	必ず予習した上で授業にのぞむこと。欠席5回で失格とする。
教科書 Textbook (s)	新版 ル・フランセ 斎藤昌三著（白水社）
参考書 Reference (s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IB						
担当教員	釣 馨						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1~4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	フランス語の文の基本的な仕組みを学ぶ：前期に引き続き、テキストは「ル・フランセ」を使い、フランス語を聞き、話し、書く上で最も必要とされる基本的な文法事項を学びます。文法事項の説明のあと、それをきちんと理解するために練習問題を解いていきます。クラス全員の理解を目指して、各文法事項の説明と練習問題に十分な時間をかけてゆっくと進む予定です。期末試験の他に数回小テストを行い、習ったことを確認・復習していきます。授業の合間には、フランス語の音楽を聴いたりして一息入れましょう。
授業計画 Syllabus	1. L6文法解説 2. L6練習問題 3. L7文法解説 4. L7練習問題 5. L6&7の復習、小テスト 6. L8文法解説 7. L8練習問題 8. L9文法解説 9. L9練習問題 10. L8&9の復習、小テスト 11. L10文法解説 12. L10練習問題 13. 試験対策 14. 期末試験 15. テスト返却、見直し
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	演習
評価方法 Evaluation	出席を含めた平常点(20%)と小テスト(20%)、期末試験(60%)で総合的に評価する。
履修上の注意 Requirements and policy	毎回の積み重ねの上に授業が進んでいきますので、毎回の出席は不可欠です。
教科書 Textbook(s)	「ル・フランセ」 齊藤昌三著（白水社）
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語ID/French ID						
担当教員	岩本 篤子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1~4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	パリ旅行での会話を通してフランス語による簡単なコミュニケーションを学ぶ。フランス語の総合的な練習(話す、聞く、文章を理解する、書く、つづり字を読む等)をし小テストをたびたび行う。
授業計画 Syllabus	<p>第一回 7課 水を買う          第二回 7課 続き          第三回 8課 エスカルゴって何          第四回 8課 続き          第五回 復習          第六回 9課 モナリザに会う          第七回 9課 続き          第八回 10課 買い物を楽しむ          第九回 10課 続き          第十回 復習          第十一回 11課 セーヌ河は流れる          第十二回 11課 続き          第十三回 12課 オペラ座に入ってみよう</p> <p>第十四回 12課 続き          第十五回 復習とまとめのテスト</p>
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	演習形式の授業。受講者がフランス語の文を発音・和訳し、教師の助けを借りながら練習問題を解く。
評価方法 Evaluation	小テストの平均点と試験の点数との合計が120点以上あれば合格 小テスト50%、期末テスト50%。欠席・遅刻は減点とする。
履修上の注意 Requirements and policy	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欠席が3回を超えると単位を認めない</li> <li>・予習・復習は不可欠</li> <li>・授業には必ず仏和辞書を持参（紙の辞書が望ましい）</li> </ul>
教科書 Textbook(s)	新・改訂版 はじめてのパリ 大津・瀧川・藤井著（朝日出版社）
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語ID/French ID						
担当教員	岩本 篤子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1~4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	パリ旅行での会話を通してフランス語による簡単なコミュニケーションを学ぶ。フランス語の総合的な練習(話す、聞く、文章を理解する、書く、つづり字を読む等)をし小テストをたびたび行う。
授業計画 Syllabus	<p>第一回 7課 水を買う          第二回 7課 続き          第三回 8課 エスカルゴって何          第四回 8課 続き          第五回 復習          第六回 9課 モナリザに会う          第七回 9課 続き          第八回 10課 買い物を楽しむ          第九回 10課 続き          第十回 復習          第十一回 11課 セーヌ河は流れる          第十二回 11課 続き          第十三回 12課 オペラ座に入ってみよう</p> <p>第十四回 12課 続き          第十五回 復習とまとめのテスト</p>
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	演習形式の授業。受講者がフランス語の文を発音・和訳し、教師の助けを借りながら練習問題を解く。
評価方法 Evaluation	小テストの平均点と試験の点数との合計が120点以上あれば合格 小テスト50%、期末テスト50%。欠席・遅刻は減点とする。
履修上の注意 Requirements and policy	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欠席が3回を超えると単位を認めない</li> <li>・予習・復習は不可欠</li> <li>・授業には必ず仏和辞書を持参（紙の辞書が望ましい）</li> </ul>
教科書 Textbook(s)	新・改訂版 はじめてのパリ 大津・瀧川・藤井著（朝日出版社）
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語ID/French ID						
担当教員	打田 素之						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1~4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	フランス語によるコミュニケーション能力の養成
授業計画 Syllabus	第1回 前期の復習 第6課（1） aller を使った表現 第2回 第6課（2） venir を使った表現 第3回 第6課（3） 6課のまとめと練習問題 第4回 第7課（1） 時刻の表現 1 第5回 第7課（2） 時刻の表現 2 第6回 第8課（1） 近接未来 第7回 第8課（2） 近接過去 第8回 第9課（1） 代名動詞 第9回 第9課（2） 天気の状態 第10回 第10課（1） 場所を尋ねる 第11回 第10課（2） 道を尋ねる 第12回 第11課（1） 過去の表現 1 第13回 第11課（2） 過去の否定 第14回 第12課（1） 過去の表現 2、筆記試験 第15回 第12課（2） 否定の表現
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	講義と演習
評価方法 Evaluation	平常点（20点）+筆記試験（80点）。なお、点数配分は平均点の数値によって変わることがある。
履修上の注意 Requirements and policy	出席重視。毎回辞書を持って来ること。
教科書 Textbook(s)	
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語ID/French ID						
担当教員	谷口 千賀子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1~4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	簡単な内容のフランス語を話す、聞く能力を養う。フランス語が使えるようになるためには、少しでも多く話し、聞くことが大切である。そのためのさまざまな訓練をとおして、フランス語でコミュニケーションする楽しさを味わってもらいたい。 また、言葉だけではなく、フランスの文化や生活にも触れたい。
授業計画 Syllabus	第1回 前期の復習 第2回 Leçon 9: ~に行く, 場所の前置詞, 縮約 第3回 Leçon 10: 交通手段, 理由 第4回 Leçon 11: 位置関係 第5回 Leçon 12: 道順, 命令文 第6回 Leçon 9-12の復習 第7回 Leçon 13: 食べる・飲む, 部分冠詞 第8回 Leçon 14: 一日の生活, 代名動詞 第9回 Leçon 14, 15: 一日の生活, 1000までの数, 複合過去形(1) 第10回 Leçon 15, 16: 複合過去形(2) 第11回 Leçon 16: 複合過去形(3) 第12回 Leçon 13-16の復習 第13回 Leçon 17: 半過去形 第14回 Leçon 18: 複合過去形と半過去形 第15回 まとめと試験
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	各課で学習する内容に応じて、文法や使用する表現・単語を見たあと、教師と学生、学生同士などで口頭練習を行う。 また、綴りを覚えるために、各課が終了する毎に小テストを行う。
評価方法 Evaluation	学期末の最終試験の成績(60%), 授業中の小テスト(20%), 授業中の課題や提出物(20%)の成績により、総合的に評価する。
履修上の注意 Requirements and policy	授業には必ず仏和辞書を持参すること。 授業回数の半数以上(8回)欠席した場合には最終試験の受験資格を失うので注意すること。 なお、遅刻2回で欠席1回扱いとする。
教科書 Textbook(s)	伊勢晃・谷口千賀子 著 Ca va ? (早美出版社) ISBN 978-4-86042-052-9
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IIB						
担当教員	打田 素之						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜1	配当学年	2~4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	フランス語のしくみを学ぶ
授業計画 Syllabus	第1回 前期の復習（1） 代名動詞 第2回 前期の復習（2） 人称代名詞 第3回 前期の復習（3） 未来形 第4回 第15課（1） 半過去 第5回 第15課（2） 大過去 第6回 第15課（3） 前置詞+関係代名詞 第7回 第16課（1） 条件法 第8回 第16課（2） 現在分詞 第9回 第16課（3） ジェロンディフ 第10回 第17課（1） 単純過去 第11回 第17課（2） 前過去 第12回 第17課（3） 直接話法と間接話法 第13回 第18課（1） 接続法 1 第14回 第18課（2） 接続法 2、筆記試験 第15回 第18課（3） 所有代名詞
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	講義と演習
評価方法 Evaluation	平常点（20点）+筆記試験（80点）。なお、点数配分は平均点の数値によって変わることがある。
履修上の注意 Requirements and policy	出席重視。毎回辞書を持って来ること。
教科書 Textbook(s)	
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IIB						
担当教員	木谷 吉克						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	2~4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	フランス語文法の完成 フランス語文法をひとつお終えることを目指す。文法説明以外に、フランス語らしく発音できるよう指導もする。そのための小テストも毎回行う。
授業計画 Syllabus	第1回：前期試験を返し、正答の説明を行なう。授業の進め方、成績のつけ方等を説明したあと、教科書の14課から始める。14課の直説法単純未来の説明、練習問題。 第2回：14課の直説法前未来、中性代名詞leの説明、練習問題。 第3回：14課の中性代名詞enおよびyの説明、練習問題。 第4回：15課の直説法半過去の説明、練習問題。 第5回：15課の直説法大過去の説明、練習問題。 第6回：15課の前置詞をともなう関係代名詞の説明、練習問題。 第7回：16課の条件法現在、条件法過去の説明、練習問題。 第8回：16課の現在分詞の説明、練習問題。 第9回：16課のジェロンディフの説明、練習問題。 第10回：17課の間接話法の説明。 第11回：17課の間接話法の説明の続きと練習問題。 第12回：18課の接続法現在の説明。 第13回：18課の接続法現在の説明の続きと練習問題。 第14回：18課の所有代名詞の説明、練習問題。 第15回：総復習問題。 第16回：後期試験。
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	演習
評価方法 Evaluation	試験の成績に、小テストの成績と出席状況を加味する。仏検合格者には、5点程度加点する。
履修上の注意 Requirements and policy	必ず予習した上で授業にのぞむこと。仏和辞典を持参のこと。欠席5回で失格とする。
教科書 Textbook(s)	新版 ル・フランセ 斎藤昌三著（白水社）
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IIB						
担当教員	宮川 文子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2~4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	フランス語の「しくみ」を全体的に把握することを目指す。そのためにフランス語 I の教科書を用いて、重要な項目はその都度復習しながら、文法の未習事項を学んでいく。
授業計画 Syllabus	<p>第1週 授業に関する説明、前期に学んだ事項の重要項目を復習</p> <p>第2週 第15課：直接法半過去、Exercices 1, 3</p> <p>第3週 第15課：直接法大過去、前置詞+関係代名詞、Exercices 2, 3, 4</p> <p>第4週 第16課：条件法現在、Exercices 1, 2, 3</p> <p>第5週 第16課：条件法過去、Exercice 2</p> <p>第6週 第16課：現在分詞、ジェロンディフ、Exercices 4, 5</p> <p>第7週 第17課：直接話法と間接話法、Exercice 4</p> <p>第8週 第18課：接続法現在、Exercices 1, 3</p> <p>第9週 第18課：接続法過去、所有代名詞、Exercices 2, 4</p> <p>第10週 読み物（プリント）</p> <p>第11週 読み物（プリント）</p> <p>第12週 後期の総復習</p> <p>第13週 質疑応答と後期試験</p> <p>第14週 試験の返却と解説</p> <p>第15週 質疑応答と再テスト</p>
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	演習
評価方法 Evaluation	平常点（小テスト等）40%と定期試験60%によって評価する。
履修上の注意 Requirements and policy	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業には仏和辞典をもってくる</li> <li>・3分の1を超えて欠席すると受験資格を失う</li> </ul>
教科書 Textbook(s)	斎藤昌三著『新版 ル・フランセ』（白水社）
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IID/French IID						
担当教員	打田 素之						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	2~4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	フランス語の読解力の養成						
授業計画 Syllabus	第1回 第6課(1) Un week-end à Bruxelles 第2回 第6課(2) Le français au Maghreb 第3回 第6課(3) 練習問題 第4回 第7課(1) Les grandes vacances 第5回 第7課(2) Le français en Afrique noire 第6回 第7課(3) 練習問題 第7回 第8課(1) Je n' habitais pas en France. 第8回 第8課(2) Le français en Asie du Sud-Est 第9回 第8課(3) 練習問題 第10回 第9課(1) J' irai dans un pays africain. 第11回 第9課(2) Le français dans le Pacifique 第12回 第9課(3) 練習問題 第13回 第10課(1) Les voyages forment la jeunesse. 第14回 第10課(2) Les institutions de la Francophonie筆記試験 第15回 第10課(3) 練習問題						
参照URL Referance URL(s)							
授業方法 Class type	講義と演習						
評価方法 Evaluation	平常点(20点)+筆記試験(80点)。なお、点数配分は平均点の数値によって変わることがある。						
履修上の注意 Requirements and policy	出席重視。毎回辞書を持って来ること。						
教科書 Textbook(s)	「フランコフォニーへの旅」、小松裕子他、駿河台出版、ISBN978-4-411-00926-5						
参考書 Reference(s)							
備考 Remarks							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IID/French IID						
担当教員	川口 陽子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2~4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	コミュニケーションのためのフランス語<読む> フランス語IICに続いて、コミュニケーション能力の中でも、特に「読む」力を伸ばすためのレッスンを行います。 そのためにまずエピソードを読み、次いで内容が理解できているかを質問に答える形で確認しながら、授業を進めます。 また同時に、文法の復習、フランス語での表現や聞き取りの練習も行い、フランス語の基礎的な能力の向上も目指します。
授業計画 Syllabus	第1回 フランス語IICの復習 第2回 第6課：ブリュッセルでの週末 第3回 第6課：マグレブのフランス語 第4回 第7課：夏休み 第5回 第7課：ブラック・アフリカのフランス語 第6回 まとめと復習1 第7回 第8課：フランスには住んでいなかった 第8回 第8課：東南アジアのフランス語 第9回 第9課：アフリカの国へ行くつもりだ 第10回 第9課：太平洋のフランス語 第11回 まとめと復習2 第12回 第10課：かわいい子には旅をさせよ 第13回 第10課：フランスフォニー組織 第14回 まとめと復習3 第15回 まとめと試験
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	演習形式
評価方法 Evaluation	平常点50%（授業中発表点30%，出席状況+提出物等20%），学期末試験50%
履修上の注意 Requirements and policy	仏和辞典も毎回必ず持参して下さい。 忘れ物チェックも行います。 発表時に連絡無く欠席・遅刻した場合は減点となります。
教科書 Textbook(s)	『フランコフォニーへの旅』 小松祐子, Gilles Delmaire, 駿河台出版社, 2008年 ISBN 978-4-411-00928-5 C1085
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IID/French IID						
担当教員	釣 馨						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜1	配当学年	2~4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	フランス語を聞いたり、話したりする総合的な力をつける：後期からは本格的に映画のシナリオを導入します。映画のシーンを使ってフランス語を学ぶ利点は、フランス語が話される現場に立ち会えることです。どんなフランス語が、どのような状況で話されているのか考察し、そこで使われている表現を実際に使ってみましょう。授業はテキストを使用せず、随時プリントを配布します。
授業計画 Syllabus	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 仏検問題で復習(1)</li> <li>2. 仏検問題で復習(2)</li> <li>3. 仏検問題で復習(3)</li> <li>4. 小テスト、映画「アメリ」(1)</li> <li>5. 映画「アメリ」(2)</li> <li>6. 映画「アメリ」(3)</li> <li>7. 映画「アメリ」(4)</li> <li>8. 映画「スパニッシュ・アパートメント」(1)</li> <li>9. 映画「スパニッシュ・アパートメント」(2)</li> <li>10. 映画「パリ、ジュテーム」(1)</li> <li>11. 映画「パリ、ジュテーム」(2)</li> <li>12. 映画「パリ、ジュテーム」(3)</li> <li>13. テスト対策プリント</li> <li>14. 期末テスト</li> <li>15. テスト返却、見直し</li> </ol>
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	演習
評価方法 Evaluation	出席を含めた平常点(シナリオの訳を担当してもらいます、40%)と期末試験(60%)で総合的に評価します。
履修上の注意 Requirements and policy	授業中に調べたりすることもあるので、辞書は必ず持参してください。
教科書 Textbook(s)	随時プリントを配布
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IIIB						
担当教員	野口 一浩						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	3~4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	フランス語で自由にかつ楽しく作文を作ることが出来る。特に日常生活で使うことの出来る表現は確実にマスターする。社会人になる前に基本的なフランス語文法の基礎を身につけ、応用的な文章も書くことができるようにする。毎回予習プリントが出され、簡単に予習できるようにしています。また、休暇前には魅力的な課題が出され、自然に力がつくようになっています。
授業計画 Syllabus	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 後期の講義内容の確認及び学習方法の説明（特に予習の大切さを強調）そして実際にテキスト『基本動詞によるやさしいテーマ』のtheme⑥をみんなで解く。</li> <li>2. theme⑥の残りの部分を仕上げる。また追加のプリントを学習する。</li> <li>3. theme⑥のまとめ（mettre動詞）</li> <li>4. theme⑦(pouvoir動詞)の作文</li> <li>5. theme⑦のまとめ（追加のプリントで応用問題を解く）</li> <li>6. theme⑧(prendre動詞）</li> <li>7. theme⑧のまとめ（追加のプリントで応用問題を解く）</li> <li>8. theme⑨(falloir動詞）</li> <li>9. theme⑨のまとめ（追加のプリントで応用問題を解く）</li> <li>10. theme⑩(arriver動詞）</li> <li>11. theme⑩のまとめ（追加のプリントで応用問題を解く）</li> <li>12. 後期学習内容の総復習（mettre/pouvoir/prendre動詞を中心にポイントを再確認）</li> <li>13. 後期学習内容の総復習（falloir/arriver動詞を再確認）</li> <li>14. 後期学習内容の総復習（授業）及び後期試験</li> <li>15. 後期試験の答案返却及び解説、最後に前期学習内容の総まとめ（授業）</li> </ol>
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	講義
評価方法 Evaluation	筆記試験（60%）平常点（40%）
履修上の注意 Requirements and policy	欠席5回で試験はうけられません。 毎回辞書を持参してください。
教科書 Textbook(s)	『基本動詞によるやさしいテーマ』（改訂版）著者：青井 明 出版社：白水社 ISBN978-4-560-06050-6
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	今回は授業で使った生きた表現を数個取り入れながら、各自で2人の会話文（まるで映画の脚本家になったつもりで）を作成してもらいます。（締め切りは今年12月まで）ですから、今のうちからどんな内容にするか考えておいて下さい。

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IIID/French IIID						
担当教員	C. Cherasse						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	3~4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	フランス語の構成と執筆
授業計画 Syllabus	受講生のレベルに応じて組み立ててゆく。
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	会話及び討論の中からフランス語の構成を学ぶ。 考えを順序立てて整頓された文を構成する。 自分で文章を作り編集する。
評価方法 Evaluation	宿題35% 授業への参加度25% 授業の理解度40%
履修上の注意 Requirements and policy	宿題をやってくると授業への出席を重視する。学外見学の予定あり。参加費・交通費を負担する必要あり。
教科書 Textbook(s)	コピーした資料を配布
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語コミュニケーションB/French Communication B						
担当教員	C. Cherasse						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜4	配当学年	3~4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	ビデオその他の教材を用いて、フランス語でのコミュニケーション能力を高める
授業計画 Syllabus	受講生のレベルに応じて組み立ててゆく。
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	ビデオや書かれたテキストを使い、グループや個人による訓練をととして、フランス語で自分の意見を述べたり論争する能力を養う。学生はフランス語の資料を読んだり、口頭発表することを求められる。
評価方法 Evaluation	宿題25% 発表35% 授業への参加度40%
履修上の注意 Requirements and policy	宿題をやってくると授業への出席を重視する。学外見学の予定あり。参加費・交通費を負担する必要あり。
教科書 Textbook(s)	コピーした資料を配布
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	やさしいフランス語会話B/French Conversation for Beginner						
担当教員	谷口 千賀子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	2~4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	フランス文化副専攻の学生およびフランス語学習経験のある学生を対象とする。 これまでに学習したことを元にして、フランス語を話す・聞く能力のさらなる向上を目指す。 フランス語の運用能力を高めるためには少しでも多く話し、聞くことが大切である。そのためにこのクラスではできる限りフランス語で授業を進める予定である。 また言葉だけでなく、フランスの文化や生活にも触れたい。
授業計画 Syllabus	第1回 前期の復習, Leçon 8: 持ち物について語る 第2回 Leçon 8, 9: 所有を表す, 場所について説明する 第3回 Leçon 9: 位置づける 第4回 Leçon 10: 余暇について語る(1) 第5回 Leçon 10, 11: 余暇について語る(2), 趣味を語る 第6回 Leçon 11: 頻度を示す 第7回 Leçon 12: 家族について語る 第8回 Leçon 12, 13: 過去の出来事を語る, 行き先を言う 第9回 Leçon 13: 時間を言う 第10回 Leçon 14: できること・すべきことを言う 第11回 Leçon 14, 15: 誘う, なじみの場所について語る 第12回 Leçon 15: 時期・日付を言う 第13回 Leçon 16: 毎日の習慣を語る 第14回 Leçon 17: 交通手段を言う 第15回 まとめと試験
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	各課で学習する文法や表現・単語を確認したあと、練習問題をこなしながら知識の定着をはかる。 学習した表現を用いて、教師と学生、学生同士などで口頭練習を行う。 授業中の質疑応答などは、できる限りフランス語を使って行う。
評価方法 Evaluation	学期末の最終試験（筆記試験40%、口頭試験40%）と授業中の小テストや提出物などの平常点（20%）により、総合的に評価する。
履修上の注意 Requirements and policy	授業には必ず仏和辞書を持参すること。 授業回数の半数以上（8回）欠席した場合には最終試験の受験資格を失うので注意すること。 なお、遅刻2回で欠席1回扱いとする。
教科書 Textbook(s)	Gael CREPIEUX 他 著 Spirale（ピアソン・エデュケーション） ISBN 978-4-89471-923-1
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	フランス語学習経験の無い学生は履修不可。